

暗黒舞踏のアフェクト 踊りを伝達する際の間身体的な働きかけ

ケイトリン・コーカー（京都大学）

本発表の目的は、暗黒舞踏を伝達する際に、いかにアフェクトが身体と身体との間を流動して身体の動きを促すかを明らかにし、アフェクトと身体運動、そして身体運動と肉体との関係性を考察することである。暗黒舞踏とは、1960年代日本の前衛的な身体の動きである。舞台に立って観客の前で披露するものであるが、「表現」とは呼びかねない。

本研究は、暗黒舞踏の創始者・土方翼から暗黒舞踏を直に受け継いだ舞踏家が暗黒舞踏に自信の全てを捧げるというオーラル・ヒストリーを作成し、彼らが暗黒舞踏の踊りを伝達する稽古を事例に動画撮影をしてその場の通訳を担当しつつ身をもって踊ることによって質的データを収取してきたものである。土方翼は1986年に他界したが、本研究のインフォーマントは土方の弟子である。具体的に言えば、インフォーマント達は1964年から1985年までの間に土方の教えを受けて舞台上で踊っていた10人である。全員の発言や活動を参考にするが、本発表では小林嵯峨氏による稽古に注目する。

本研究の理論的な背景は舞踊人類学の古典的な方法論ではなく、近年社会科学に多くの影響を与えていくアフェクト論というアプローチから暗黒舞踏の身体運動とアフェクトに焦点を当てている。アフェクトは情動と訳されるが、より広い意味で相互作用の際にわれわれが感じる何か、またはわれわれを動かされる何かとして論じられている。舞踊人類学の先行研究では舞踊の身体的形態と社会的機能を重視する傾向があるが、暗黒舞踏ではそもそも定まった身体形態もあらず、機能性のないことに意味が置かれている。そのため、本研究は目に見える形や合理的に考えられる意味よりも、いかに舞踊家の言説や接触がその指導を受けている踊り手の想像や感覚をかきたて身体運動を促すのかに焦点を当てる。したがって、舞踊人類学のように身体と社会との関係を考察するよりも、身体と身体、すなわち間身体的な関係から明らかにしていく。

そのために、身体行為において能動・受動の問題が重要であると指摘しておく。その理由は、アフェクトを検討するに当たって身体がいかに影響されるかまたはするかを明らかにせざるをえないからである。ただし、するかされるか、どちらの表現もふさわしくないということが分かる。エイジエンシーという概念や身体化論などに対し、アフェクトの先行研究で身体は

アフェクトにおいて受動的と多々論じられ、または箭内匡によれば「かんぜんに能動でもなく、かんぜんに受動的でもない」だそうである¹。本研究では、身体は能動態でも受動態でもなく、松島健が論じる中動態で動くことが明らかになった。暗黒舞踏を踊る際、アフェクトと調和し、アフェクトと共に動くと考える²。または、身体のことを考察する際、舞踏家のイーミックの考え方によれば、身体・肉体・体という用語を使い分ける。簡単にいうと、身体とは社会的なものである、肉体は物質的に制御され得ないものである。そして、身体は表面的な外見で完結するが、肉体は皮膚から飛び出て周囲のモノに影響を及ぼすとされている。

このような肉体からの働きかけを念頭において、本研究はアフェクト論による身体の位置付けに問題提起をし、その論点を発展させる。アフェクト論の研究者は次の矛盾に悩まされる。それは、流動するアフェクトは文化以前の身体的経験であるはずだが、われわれの感覚と志向性は個々人の生物学的ものではなく、徹底的な社会的なものであるということである³。つまり、徹底的に社会的な身体に焦点を当てることで、文化以前のアフェクトを検討できないということである。この問題に対し、Wetherellは言説および意味を作ること(meaning-making)がアフェクトの流動に重要であると論じ⁴、De AntoniやDumouchelはアフェクトを中心据えた2018年の研究会でアフェクトにとっての想像力および感覚の重大性を明白にしている。本研究はこれらを踏まえ、身体運動の重要性を主張する。身体運動はアフェクトを発生し、個々人の知覚の基盤、周囲との関係を結びつく基盤になると結論づける。そして、この基盤をもって、身体運動はいわゆる社会や文化に対し新たな可能性を生み出す源になると考える。

1. 箭内匡 (2011)「情動をモンタージュする—フレデリック・ワイズマンのニューヨーク」、西井涼子（編集）『時間の人類学—情動・自然・社会空間』(pp. 38-61) 世界思想社。
2. 松島健 (2014)『プロセス ナウティカイタリア精神医療の人類学』世界思想社。
3. Martin, E. (2013). "The Potentaility of Ethnography and the Limits of Affect Theory," *Current Anthropology*, 54(S7).
4. Wetherell, M. (2012). *Affect and Emotion: A New Social Science Understanding*. Los Angeles: Sage Publication.

キーワード

ダンス、アフェクト、(暗黒) 舞踏、身体、想像、感覚